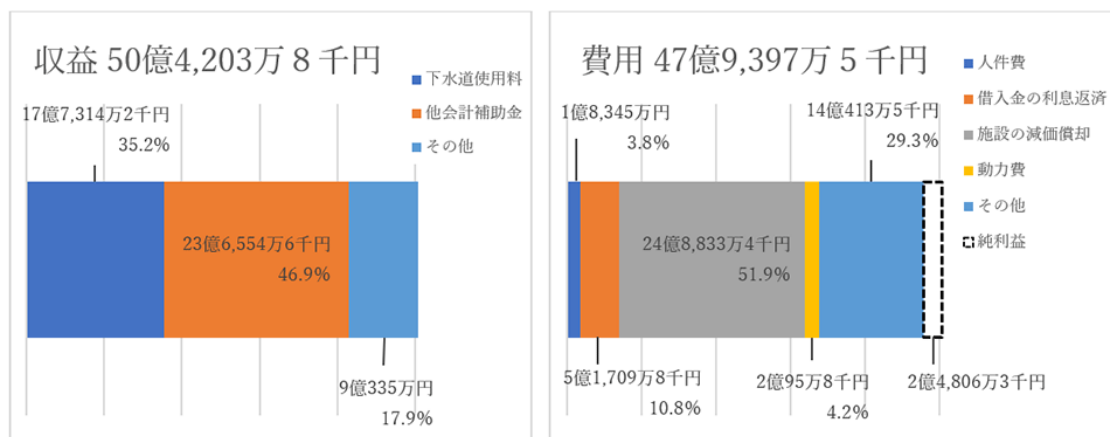


令和 4 年度決算

決算の概要（特徴的な事項を記載しています。）

収益的収支（税抜）

収益的収支とは、下水道事業における通常の経営活動にかかる収益と費用です。



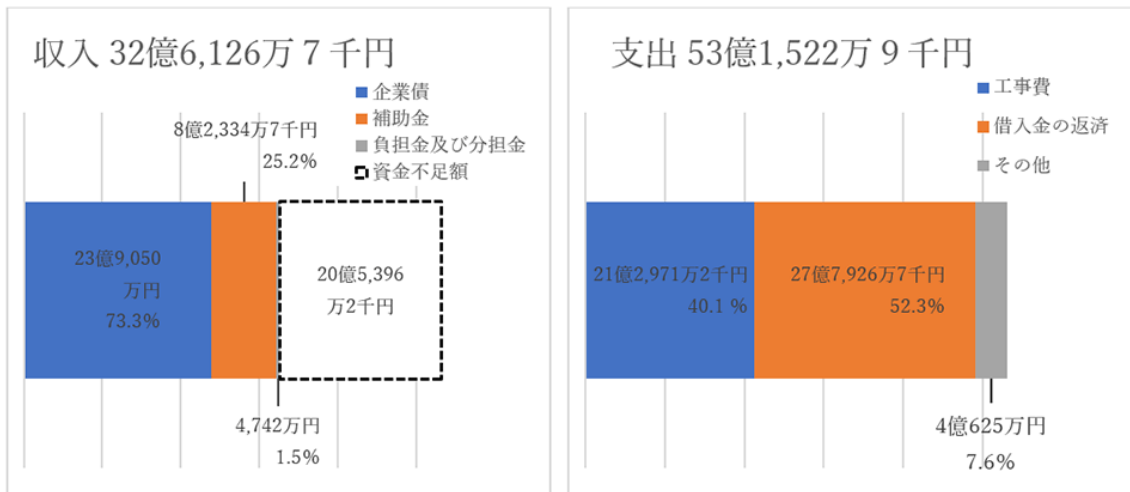
※費用のうち、「その他」は、下水道設備や管路施設を維持管理する経費、汚水をきれいにするための薬品購入費、下水道本管の緊急工事費、材料費などの経常的に支出する経費です。

<収益的収支の概要>

- 水洗化件数、水洗化率は増加するも、人口減少や節水機器の普及等により、下水道使用料は、対前年度比約 2,200 万円減少 (-1.2%) しました。
- 電気料金（動力費）の増加に伴い、一般会計から基準内繰入を約 3,700 万円増額で受け、当年度純利益は、約 2 億 4,800 万円を計上しました。
- このうち、資本的収支の補てん財源として、当年度純利益から約 1 億 7,300 万円充当したため、積立金は約 7,500 万円となりました。

資本的収支（税込）

資本的収支とは、老朽化が進む処理場設備及び管路施設などの改築、及び企業債の借入や、償還にかかる収入と支出です。



※資金不足額は、内部留保資金で補てん等を行いました。

<資本的収支の概要>

- 下水道普及率は、対前年度約 1 ポイント増を目指しましたが、本市の地質的な特性等から、地盤改良等に不測の経費が発生したことや、翌年度へ工事を繰越したことにより、62.4%（0.4 ポイント増）に留まっています。
- 前年度からの繰越工事等により現金が不足し、一時的に他会計から借入をしました。